

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

2025年10月15日

住 所 長野県飯山市大字木島1144番地

企業名 株式会社サンタキザワ

代表者 代表取締役 福原 初

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

株式会社サンタキザワは、すべてのステークホルダーと連携を図りつつ、持続可能社会の実現に向けて SDGs の考え方を尊重し、その目標の達成に向けて努力して参ります。

3側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況
			登録年月日：2025 年 10 月 15 日
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	エコアクション 2.1 (2025.1.14 登録) の取組みに沿い、自社及び工事現場から発生する CO ₂ 削減に努める。	CO ₂ 排出量 2023 年 583,716kg 7%削減↓ 2030 年 542,856kg	今回、取組内容を変更したため、進捗状況は次回からとします。
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	建設 DX の積極的な取り組みにより、業務の効率化を図り、労働時間短縮に努める。	従業員一人当たり残業時間 (月平均時間) 2024 年 12.6 時間 20%削減↓ 2030 年 10.0 時間	今回、取組内容を変更したため、進捗状況は次回からとします。
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	交通事故防止、法令違反防止に努め、交通マナーの向上を図り、社会にやさしい安全運転を推進する。	・SD カード取得率 2023 年 89.3% 2030 年 100% ・ゴールドカード取得率 2023 年 48% 2030 年 70%	今回、取組内容を変更したため、進捗状況は次回からとします。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の**3側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年1回以上進捗管理を行い、長野県 SDGs 推進企業情報サイト (NAGANO SDGs BUSINESS PORTAL) で公表してください。

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・経営企画部を窓口とする相談体制を整備すると共に担当役員によるモニタリングも実施。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメント禁止条項を就業規則内に規定し、経営企画部を相談窓口としている。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証取得					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・自己申告制による労働時間管理を実施しているが、現場状況により過度な長時間労働の発生リスクが見込まれる場合は、担当部長と経営層の協議により人員体制の変更等を実施している。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	・現状、外国人労働者の雇用実績無いが、モンゴル人労働者受け入れを検討中。処遇については、日本人社員の就業規則に準じ対応する。				4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・現場代理人を中心に毎日現場の安全確認を行うと共に、毎月が労働安全コンサルタント同行にて店社パトロールを行い、現場の安全管理状況を検証している。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・毎年、メンタルヘルスチェックを実施。担当者が職員の精神的健康状態を確認している。また、問題のある職員については個別面接を行い、産業医の紹介等を			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本		【予定】	・就業規則を改定し、60歳定年後の雇用延長期限を65歳から70歳に変更する。（現在、運用で65歳超の社員を雇用中）					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・実務に必要な資格取得に向け、社員の各階層別教育計画を策定し、資格取得関連研修費用を会社負担とすることで奨励中。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パート採用および派遣社員を採用する場合は正規社員との待遇差が生じないよう努めている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・社員のレクリエーション活動であるソフトボール部やサイクリング部へ会社補助を行うと共に、地域でのマラソン大会やツーリング大会への社員参加を会社として奨			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・解体工事現場等から生ずる廃棄物に関しては分別を徹底し、 manifests に則り適切に処分している。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・エコアクション21(2025.1登録)において取り組んでいる。								7.3					13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・排ガス抑制重機の導入を推進中。 ・エコアクション21(2025.1登録)において取り組んでいる。								7.2 7.3				12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・エコアクション21(2025.1登録)において取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・工事現場からの排水が環境に悪影響を及ぼす可能性のある場合は、直接河川・排水溝等に排水せず、分離槽を設置している。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・分別されたリサイクル資材の内、段ボール、石膏ボード等については濡れない様、保管管理を徹底。 ・エコアクション21(2025.1登録)において取り組んでいる												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・現場で発生するボーリング削孔水を汚泥処理し、再利用中。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・エコアクション21を登録している。(2025.1)			3.9			6	7				12	13.3	14	15			

[illegible]

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・責任者(担当役員)を任命している。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・工事現場周辺住民への情報発信として、「現場ニュース」を発行すると共にニーズ汲み上げを目的とした対話を実施している。 ・債権者である金融機関宛に定期的に事業報告を行っている。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ（任意）			・BCP(事業継続計画)を策定し、事業継続において障害となるリスクを洗い出し、項目毎の対応策を整備している。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			・除雪事業の他、全国レベルでの災害対応で、国土交通省からの応援要請に対し、常時積極的に対応している。 派遣実績・H26 長野県神代断層地震災害対応、H29 福井豪雪対応、R1 台風15号災害千葉県応急																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ（任意）			・BCP(事業継続計画)を策定し、国土交通省による基礎的事業継続力認定企業に認定(認定No.Krt15_007)されている。								9		11		13 13.1				16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ（任意）			・グループ経営改善委員会の活動を通じ、メンバーである若手マネジメント層の育成を推進中。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定